



# Larimar

## [ラリマー]

[主な原産国] ドミニカ共和国

[成分]  $\text{NaCa}_2\text{Si}_3\text{O}_8(\text{OH})$

[硬度] 4.5 ~ 5

ラリマーの語源は発見者の一人であるドミニカ人ミゲル氏の娘「ラリッサ」と、海を表すスペイン語「マール」の組み合わせだといわれています。

1985年、アメリカの宝石商が『カリブ海の宝石』と売り出したことにより、そのネーミングのおもしろさと美しさから、次第に人気が高まってきたといわれています。

主な産地のドミニカ共和国は、アトランティスの失われた大陸だったという伝説をもつため、このラリマーは別名を「アトランティス・ストーン」と呼ばれることもあるそうです。

また、カリブ海に泳ぐイルカをイメージした「ドルフィン・ストーン」という可愛らしい別名もあります。

ラリマーは、愛と平和を象徴し、すべてを優しく包み込む大きな慈愛のパワーに溢れているといわれ、身につけると静かで落ち着いた、人を寄せつけやすい雰囲気をかもしだすといわれています。

コミュニケーション能力を高め、素直で優しい言葉や態度を引き出すともいわれています。

また、変化に伴う不安を和らげ、心を開いてスムーズに受け入れられるよう手助けをしてくれるといわれています。物事に対して自然体で向き合えるようになり、あるがままの新しい自分を受け入れるのに役立つとされています。

骨折やヒビの治療に活用されたほか、不眠症を改善する力もあるといわれています。

### 取り扱い方の注意点

- ・特にありません。